

令和5年 第122回多可町議会定例会 一般質問

(1日目) 6月15日(木) 午前9時30分から

質問順	質問議員	質問事項	答弁を求める者
1	大山由郎	子どもの安全を最優先に	教育長
2	門脇教蔵	地域共生社会づくりの今後の進め方について	町長
		SDGsの取り組みについて	町長
3	橋尾哲夫	多可町翠明湖マラソンを再開すること	町長
		八千代診療所の正規医師を早急採用すること	町長
		加西・多可健幸アプリの登録者を増やすこと	町長
4	吉田政義	チャットGPT活用への検討・研究は	町長
5	藤本一昭	アフターコロナの役場・学校の対応は	町長
		認知症対策として「神戸モデル」は導入できるのか	町長
		GIGAスクールのコンピュータの利活用の状況は	教育長
6	廣畑幸子	コロナ禍の前と後、学校現場や認定こども園の課題や状況は	教育長
		エーデルささゆりの施設の充実を	町長
7	門脇保文	生涯学習まちづくりプラザ建設に向けて	町長
		教育レベルの向上を目指せ 数学オリンピックを開催せよ	教育長

(2日目) 6月16日(金) 午前9時30分から

質問順	質問議員	質問事項	答弁を求める者
8	清水俊博	「集落内から食料品店が消えた！」忍び寄る危機、急ぎ「買い物弱者」対策が必要です	町長
		まったなし「熱中症」から児童生徒、住民を守る取組みを！	町長
		通学路、生活道路での交通事故から住民を守れ！ <ゾーン30プラスを導入し、対策が必要>	町長
9	藤原清勝	公文書作成における、管理チェック体制は機能しているか	町長
		見通しのいい交差点での事故を防ぐ安全対策を急ぐべきである	町長
10	内橋志郎	統合中学校建設に伴う跡地施設について	町長
		解体撤去の起債活用は、慎重に	町長
		高校入学支援金支給制度運用の分断線について	教育長
11	足立吉継	地域の宝！播州百日どりの継続発展は	町長
		AED普及推進計画をさらに進めよ	町長
12	市位裕文	多可町友好交流の促進	町長
13	日原茂樹	DXの推進	町長
		デジタル全盛の今こそ子どもたちに読書を	教育長

一般質問通告書

【第 122 回定例会】

多可町議会議員 笹倉 政芳 様
多可町議会議員 大山 由郎

受 領 日	番号
令和 5 年 5 月 22 日 午前・午後 8 時 30 分	1

質問の項目及び内容	答弁を求める者
1. 子どもの安全を最優先に	教育長
<p>子どもは未来の守護者だ。その子どもたちが安全で安心して生活ができる学校・地域の実現はわが町の最大・喫緊の課題だ。</p> <p>1, 学校は、学校保健安全法により、学校安全計画を策定し、毎学期 1 回以上、児童生徒等が通常使用する施設及び設備の異常の有無について安全点検を行わなければならない、とされている。しかし、安全点検が実施されているにもかかわらず、学校の施設又は設備に起因する事故等について、消費者安全調査委員会（消費者事故調）が報告書をまとめ、緊急点検の実施を文部科学省に提言した。事故調の調査の結果、全国の学校から収集した点検表を調べると、実効性のある点検が行われていない可能性が浮かび上がり、多くの学校でどのようにチェックするかが不明だった。</p> <p>多可町内の「学校の安全点検は十分か」</p> <p>2, 我が国の子どもたちの学力は、OECD（経済協力開発機構）の学力調査でトップ水準だ。この調査が示すように、日本の学校教育は高い成果を上げてきた。教師が学習指導だけでなく、生徒指導などを一体的に行う日本型の学校教育は国際的にも評価されている。しかし今、こうした従来のような教育活動を続けられるかどうかの岐路に立っている。今の子どもたちが生きていく未来は人工知能（AI）などの新たな技術の進展により、変化の激しい時代になると予想される。子どもたちには次の時代を切り拓くための必要な力が求められており、そしてその力を育むために、これまで以上に学校が教育活動に力を注ぐ必要がある。しかし、学校教育を支える教師たちの長時間労働は深刻な状況にあり、教師の働き方を見直す「学校の働き方改革」は喫緊の課題である。</p> <p>多可町の「学校の働き方改革は進んでいるか」</p>	

3, 学校では、地域の人材の活用は従来から行われているが、一方で、子どもの教育は学校に任せておけば良いという意識から、学校がすべての教育問題を抱え込む傾向も見られる。近年、学校評議員制度が導入された。これは、保護者や地域の声を学校運営に直接反映させ、保護者・地域・学校・教育委員会が一体となり、より良い学校を作り上げていく事を目指すものである。そして、学校を地域社会に開くものであり、学校は家庭や地域と共に存在している事を改めて示している。

今後、教育活動の充実に向け更に「学校と地域との連携を推進せよ」

一般質問通告書

【第 122 回定例会】

多可町議会議長 笹倉 政芳 様
多可町議会議員 門脇 教蔵

受 領 日	番号
令和 5 年 5 月 22 日 午前 午後 8 時 44 分	2

質問の項目及び内容	答弁を求める者
1. 地域共生社会づくりの今後の進め方について	町長
<p>近年、少子高齢化の核家族が進む中、一人暮らし高齢者、高齢者のみの世帯の増加を由来とする社会孤立の問題、自治会加入率の低下など、地域のつながりの希薄化が進んでいます。</p> <p>このような背景を受け、複雑化、多様化する課題に対し、これまでの制度、分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として地域課題に主体的に取り組みをつくり、また、困難を抱えた場合には、解決に向けて「丸ごと」の包括的総合相談の体制整備を進めていくのが「地域共生社会」であります。</p> <p>本町も 4 月より総務課に「地域共生社会づくりに関すること」を移し、地域局を活動拠点として体制づくりを進めていくとのことでした。</p> <p>そこで次の事についてお伺いいたします。</p> <p>◎地域共生社会に対する本町の考え方は。</p> <p>◎地域共生社会づくりは、これから多可町の町づくりを進めていく上で、重要な施策の 1 つです。そのため、まちづくりの根幹をなす総合計画・総合戦略等などが計画されていますが、これらの計画との整合性、また、多岐にわたる関係課との調整はどのように進めていかれるのか。</p> <p>◎所管や分野を超えた福祉行政サービスの展開や対応窓口の集約について、本町の実情に合わせて検討し、積極的に導入すべきと考えるが町の見解は。</p>	
2. SDGs の取り組みについて	町長
<p>令和 2 年度の施政方針の中で、町長は「変革そして未来への約束」、皆さまとの連携、協働により、住み続けたい町・住んで良かったと言われる町へ実感していただける町づくりに取り組んでいくと言われました。</p>	

国が策定した第2期総合戦略に関する新たな視点として、SDGs(持続可能な開発目標)であり、誰ひとり取り残さない社会の実現に向け、貧困や環境保全、教育、平和などによる17の目標が示され、地域が2030年までに達成することを目指しています。

多可町は、令和4年都市・地域の中から、特に経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通じて持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い地域として国から、兵庫県内の町では初めて、SDGs未来都市に選定されました。当町の提案は、クアオルト健康ウォーキングを核とした森林サービス産業をはじめ、豊かな森林を活用して木材による地域経済の循環を形成するとともに林業技術の継承と活性化を図って、活動を通して、本町の魅力を高め、関係人口を増やしつつ人口減少に歯止めをかけ、人と自然が共生し誰もが生きがいを実感しながら幸せな町を目指し、人口が減少する中であっても住民が幸せを感じ、「住みたい」「住み続けたい」「住んで良かった」と言える町の実現に向けて全力で取り組んでいくとされています。

しかし町民には今一つSDGsの取り組みで何をされているのかが分かりません。そこでお伺いたします。

◎SDGs事業について、町民に対して、また、理解を深めていただくために周知、また、啓発をしていく必要があると思いますが、どのような方法で周知されていこうとされておられるのか。

◎今の進捗状況はどのようになっているのか。

◎現在計画されている、総合計画、総合戦略、都市計画マスタープランなどの整合性を図っていかれるのか。

一般質問通告書

【第122回定例会】

多可町議会議長 笹倉 政芳 様
多可町議会議員 橋尾 哲夫

受 領 日	番号
令和 5年 5月26日 午前・ 午後 0時11分	3

質問の項目及び内容	答弁を求める者
1. 多可町翠明湖マラソンを再開すること	町長
<p>翠明湖マラソンは平成29年3月26日第31回大会をもって終了しています。全国から多くのランナーに参加してもらい多可町の存在感もアピールできたようです。</p> <p>種目は1部から16部と多く、1部は1km男子小学1年生～3年生コース、16部は1kmペアジョギングコースです。当時の大会運営においては、種目が多く、大会関係スタッフの業務負担の増大と人員確保が大変厳しい状況であったと推察されます。</p> <p>16種目から種目を大幅（男女4種目）に減らし、運営スタッフの負担を軽減し開催すべきです。時期は3月下旬でさくら咲く時期がよいと思います。</p> <p>町長の答弁を求めます。</p>	
2. 八千代診療所の正規医師を早急採用すること	町長
<p>八千代診療所の医師迫先生が本年3月31日をもって自主退職されました。現在、西脇病院と多可日赤病院の医師派遣で週2日診察に来てもらっています。</p> <p>以前は週4日でした。</p> <p>私も1カ月ごとに定期健診に行っていました。現在は2カ月ごとです。</p> <p>八千代区住民の健康を守るためにも、1日も早く正規医師を採用すべきです。行政側も大変努力はされているようです。</p> <p>町の威信をかけてでも医師確保に当たるべきです。</p> <p>町長の答弁を求めます。</p>	

3. 加西・多可健幸アプリの登録者を増やすこと

町長

人生百年時代に入り、特に健康寿命は大切です。

私も、スマホで加西・多可健幸アプリに4月19日に登録し、毎日1万歩以上歩いています。

5月1日から24日まで100万歩を達成しました。

5月24日現在、全体登録者10,389人です。

加西市7,066人、多可町3,323人です。

5月1日のアカウント登録者は中区383人、加美区301人、八千代区222人です。

加西・多可健幸アプリは全体、年代、性別、居住地、地区別になっています。多可町の人口から見ればせめて人口の半分の9,000人以上が参加すべきです。

スマホは認知症になる前のフレイル予防に有効であり、65歳以上の高齢者のスマホ所有率は40%以下で高齢者のスマホ所有者を増やす必要があります。

60歳以下の所有率は80%以上です。

3,323人は少なすぎます。

本年度から多可町は、国の目玉事業である「デジタル田園都市構想」に取り組みます。モデル事業であり結果が重要です。

高齢者のスマホ取得者に補助金を出してでも取得を増やすべきです。

アプリの講習も開催されていますがまず所有です。

町長の答弁を求めます。

一般質問通告書

【第122回定例会】

多可町議会議員 笹倉 政芳 様
 多可町議会議員 吉田 政義

受 領 日	番号
令和 5年 5月 29日	4
午前・午後 8時43分	

質問の項目及び内容	答弁を求める者
1. チャットGPT活用への検討・研究は	町 長
<p>インターネット上の膨大なデータを学習し、利用者が入力した質問や指示に人工知能（AI）が文章などで答える自動応答ソフト（ChatGPT）を使った会話型コンピュータプログラムが今話題となっております。自然な対話ができることに注目が集まり、業務の効率化に役立つと期待されています。一方、個人情報などの流出や使う人の思考力低下を懸念する声もあります。指示に基づき文章や画像、音声などをつくり出す「生成AI」と呼ばれるタイプで近年性能が急速に高まってきました。ChatGPTの機能には「1. 一般的な質問や専門的な質問に答えることができる。2. ブログ記事や物語、詩など、さまざまな種類の文章を作成できる。3. 新しいアイデアやプロジェクトの提案をすることができる。4. 異なる言語を学ぶ際の練習相手や質問に答えることができる。プログラムのコードを生成することができる。」などがあります。簡単な対話型AIは顧客応答などで既に使われていますが、ChatGPTはやりとりの自然さと文章の質の高さが際立っているといわれています。政府は人工知能に関する政策を利活用と規制の両面で議論する「AI戦略会議」を設置しました。首相は「AIには経済社会を前向きに変える可能性とリスクがあり、両者に適切に対応していくことが重要」と強調しながら検討加速を指示しています。神奈川県は横須賀市では試験導入しております。兵庫県ではプロジェクトチームを立ち上げ、秋をめどにガイドラインを取りまとめるとしています。業務は多様化しており、限られた人員で生産性を高める必要があり、課題がクリアできれば積極的に活用したいとし、いかにチェック機能を働かせるかが大事としています。神戸市では「文書の要約や翻訳、草案作成のあらゆる分野で活用できる」との見方を示し、「個人情報漏えいや著作権侵害などのリスク」も指摘し、職員のICT活用に関する条例に生成AIを追加して、適切に活用を検討されています。三田市では活用を検討するため、研究チームを設置し、一部の部署で試験利用を開始しました。秋をめどにガイドラインを作成し、本格的な導入を検討しています。鳥取県は予算編成や議会答弁の作成など、県の意思決定に</p>	

関わる業務での使用は禁止しています。

教育においても先進7カ国教育相会合では活用は学習面に好機をもたらす一方で課題も考えられるとして「継続的に課題を把握し、リスクを軽減する重要性を認識する」との共同宣言を採択しました。

今話題の ChatGPT を導入するか否かは別にして、検討、研究を進めていくべきだと思いますが、町の見解を問います。

一般質問通告書

【第122回定例会】

多可町議会議長 笹倉 政芳 様
多可町議会議員 藤本 一昭

受 領 日	番号
令和 5年 5月 29日 午前・ <u>午後</u> 2時 6分	5

質問の項目及び内容	答弁を求める者
1. アフターコロナの役場・学校の対応は	町長
<p>コロナが感染症法の第5類に変更されましたので、役場及び学校での対応を以下質問します。</p> <p>1 どのように対応を変更したのですか。</p> <p>2 今までに調達・設置した資機材の今後の活用はするのですか。</p> <p>3 感染対策のマナーとなった手指消毒・検温に対する考えはどう対応しますか。</p> <p>4 今後想定される感染症対策の考え方は具体的にどうしますか。</p> <p>5 今後の感染症対策としてのワクチン接種などを計画して対応はするのですか。</p>	
2. 認知症対策として「神戸モデル」は導入できるのか	町長
<p>全国で初めて「認知症になっても安心して暮らしていける街へ」としての「神戸モデル」があります。これは、主に4つのポイントがあります。</p> <p>① 65歳以上は自己負担ゼロで医療機関における2段階方式の認知症診断を受診できる。</p> <p>② 認知症と診断された方は市が賠償責任保険に加入して支援を提供する。</p> <p>③ 認知症の方が起こした事故に遭われた場合、見舞金を支給。</p> <p>④ これらの費用負担を現在の市民が負担して賄う。</p> <p>以上が神戸モデルの概要ですが、多可町でもこれを参考にして、検討できるものはありませんか。また現在対応している内容はどうですか。</p> <p>HPには認知症を担当する福祉課には、記載がありません。その上、施策の具体的な内容を記載した物もわからないので具体的に説明してもらいたい。</p> <p>現在は、認知症対策として介護保険を利用しても、介護認定が要支援程度となりますので、介護保険の適用とすることも困難です。</p> <p>今後の具体的施策が必要と考えますが、どうですか。</p>	

3. GIGA スクールのコンピュータの利活用の状況は

教育長

ギガスクールで一人一台の PC が貸与されていますが、各学校での活用の状況はどうですか。

- ① 学校別での活用の使用状況はどのようになっていますか。
- ② IT への教職員のスキルはどのようにして練度を向上していますか。
- ③ 今後の機材の更新について、どのように考えていますか。

ICT の活用は、とても必要であり、技術の進展速度は早く進んでいます。

現場での教育ソフトの活用は必要です。選定及び活用、ランニングコスト等を考慮していかなければなりません、その方針をお尋ねします。

一般質問通告書

【第122回定例会】

多可町議会議員 笹倉 政芳 様
多可町議会議員 廣畑 幸子

受 領 日	番号
令和 5年 5月30日 午前・ 午後 4時24分	6

質問の項目及び内容	答弁を求める者
1. コロナ禍の前と後、学校現場や認定こども園の課題や状況は	教育長
<p>コロナ感染が始まって約3年。やっと5類の扱いになりましたので、コロナ以前に早く戻って欲しいなと思うこの頃ですが、元のようにというのはまだまだ時間が掛かるでしょう。</p> <p>コロナ禍での教育現場ですが、最初は混乱していたと思います。しかし先生方のご努力や、ちょうど一人1台のタブレットを持つことなどで、タブレットを使った授業も多く取り入れ、結果対処できることも増えていきました。</p> <p>家にいながら授業が受けられることもできるようになり、様々な状況に対応できるようにもなりました。子どもたちといえ、環境の変化にも柔軟に対応ができ学校生活を送って行けたと思っています。</p> <p>ただここで気になるのは、長い時間マスク生活を強いられていたことで、子どもたちのコミュニケーション能力の低下などは招かなかったでしょうか。</p> <p>給食は黙食。マスクをしているため、顔の表情がわかりにくく日頃の生活に少なからず影響があったのではないのでしょうか。顔の表情が分からないと言うことは、乳幼児の発達にも影響を与えているとも聞きます。小学1年生の子どもたちの表情などはどうなのでしょう。</p> <p>その他にも現場で気づいていることはありませんか。課題はどのようなものがありますでしょうか。勉強も大事ですが、人間形成もとても大事です。いかがですか。</p>	
2. エーデルささゆりの施設の充実を	町長
<p>エーデルささゆりの今年度の工事は、厨房関係や貯水槽などの改修そして更新工事などが予定されています。33年が経過する施設ですので、古くなり改修の必要のあるところも増えてきてはいますが、絶対必要な宿泊関係を先行させて客室改修など計画的に進めています。</p>	

アフターコロナの今後を考えると、もう少し施設の充実を考える必要があると思います。

客室ですが、本館は室内風呂がありません。部屋に備え付けのお風呂をというのは間取りを見ても難しい話であるとは思いますが。しかし、シャワー室を考えることができれば、室内風呂の代わりになりますし、室内ではないところで考えることができれば、今後もっと盛んになるであろうクアオルト事業のウォーキングの後にシャワーを浴びて汗を流すそして、すっきりとした気分のレストランでのお食事を楽しんでいただくということも考えられるのではありませんか。

また、宴会場の設備のスクリーンやプロジェクターを、今の手動から自動に変えることも必要ではないでしょうか。結婚式などの披露宴の途中で、線を出して準備をするなどあまり式場としてはよろしくない状況ではないでしょうか。

もちろん事業者努力でできることはするべきと言うのは分かります。しかし、コロナの影響で業績が悪化しているためそれもかなわないというのが現状です。

多可町の森のホテルとも言うべきエーデルささゆりです。施設の充実をもっと積極的に進めるべきと考えますが。

一般質問通告書

【第 122 回定例会】

多可町議会議長 笹倉 政芳 様
 多可町議会議員 門脇 保文

受 領 日	番号
令和 5 年 6 月 2 日	7
午前・午後 8 時 3 0 分	

質問の項目及び内容	答弁を求める者
1.生涯学習まちづくりプラザ建設に向けて	町長
<p>「taka」5月広報に「生涯学習まちづくりプラザ」の中身を公開されていきました。多可町生涯学習まちづくり委員会は12名で構成されています。第7回委員会を傍聴させていただきました。限られた時間の中で検討されておりますが、もっと時間が必要ではないか。2委員会が必要ではなかったかと思いました。以下の内容については検討されたのか。</p> <p>1, 生涯学習まちづくり委員会では、第4回委員会では「新しい図書館の理念を学ぶ」とありましたが図書館運営には関わらないとの事ですが、なぜ総合的に検討されないのか。</p> <p>2, 住民ワークショップで出た意見「ガラス張りが多く日当たりが良いのがうれしい」が、南向きでないので日当りは悪いと思うのですが。</p> <p>3, 図書館に遊びの心がほしい。曲線的な本棚を、ブラウジングスペースや幼児書コーナーに配置しました。トンネル型の家具を配置するなど隠れ家的なスペースを作りましたとありますが、車いす同士が、行き来できるスペースが確保されていますか。</p> <p>4, 図書については学校図書との統一化を図る必要がある。また、加西市のようにICチップによる書籍管理を行うべきであると思いますが、どのように管理運営されるのか。将来はAIが導入され自分の調べたいものや必要なものがすぐに分かる方向に向かうと思いますが、そのような対応を視野に入れたシステムになっているのか。</p> <p>5, 図書館内にはWi-Fi通信網により、電子図書やZoomによる会話や会議等ができるように貸出タブレットの導入は検討されていますか。</p> <p>6, SDGsに対応するために太陽光発電の設置や蓄電池、又は駐車場における電気自動車対応のEV充電設備は検討されていますか。</p> <p>7, 今まさに、少子高齢化問題、学力低下、新たな産業、人口減による集落の自立ができない、事業所の問題や農地の空き地対策、空き家対策等、多くの課題があります。このような問題に対して図書館の果たす役割は非常に大</p>	

きい、今まさに町の課題に対して必要な充実した図書や書籍、人材育成の講演会や資料の提供等、図書館自らが立案、計画、運営が求められる時代である。どのように考えておられるのか、所見を問う。

2. 教育レベルの向上を目指せ 数学オリンピックを開催せよ

教育長

毎年4月に小学6年生、中学3年生「全国学力・学習状況調査」のテストがあり、その結果が数年全国平均より下回る結果になっていますが、その対策はどのように講じておられるのかお聞きしたい。また、読み書きに必要な生徒の読書率はどのようになっているのか。

教師一人一人が授業に対してどのように取り組んでいるか。

生徒の個々の学習問題点に対してどのように対処しているか。

夏休みの課題に「数学のオリンピック」を始めてはどうか。

先生が自分で問題を作る。数学の場合は無限に問題を解く方法がある。学習要綱だけでなくもっと簡単に論理的に答えを引き出す事ができる。そのような問題を作成する。優秀な先生には多可町功労者として表彰する。多可町にはこのような取り組みで優秀な先生方が多く在籍されていることや多可町は教育に力を入れていることを町外に知らせることにより、多可町への移住者を増やす事ができるのではないか。

一般質問通告書

【第122回定例会】

多可町議会議長 笹倉 政芳様
 多可町議会議員 清水 俊博

受 領 日	番号
令和 5年 6月 5日	8
午前・午後 8時30分	

質問の項目及び内容	答弁を求める者
<p>1. 「集落内から食料品店が消えた！」忍び寄る危機、急ぎ「買い物弱者」対策が必要です</p>	町長
<p>超少子高齢社会の中「買い物弱者」問題が急速に拡大しています。</p> <p>高齢者や様々なハンディを抱えておられる方々が、移動手段を持たずに買い物に行けないという状況のこと。国では「最寄りの食料品店まで500メートル以上離れ、車の運転免許を持たない人」、「流通機能や交通網の弱体化とともに、食料品などの日常の買物が困難な状況に置かれている人々」と定義しています。</p> <p>以下答弁を求めます。</p> <p>1) 多可町の買い物弱者の実態、現状を如何に把握されているのか。</p> <p>2) 買い物弱者対策への取組み支援をどのように、短期、中長期別に</p> <p>3) 組織横断的な支援が必要ですが、町長のご所見を伺います。</p>	
<p>2. まったなし「熱中症」から児童生徒、住民を守る取組みを！</p>	町長 教育長
<p>梅雨明けも間近、本年も猛暑の時期を迎えます。他方、正に命に関わる熱中症の発生の季節でもあります。その対応に誤りは許されません。熱中症を引き起こす要因として「環境」「からだ」「行動」大きく三つの要因が挙げられます。</p> <p>これらに十分注意を払い熱中症を予防することが重要であり、迅速且つ適切な措置、町として住民等を守る取組を一層進めなければなりません。</p> <p>以下伺います。</p> <p>1 最近の「熱中症」による救急搬送の件数及びこれまで実施した対策の具体は。</p> <p>2 温暖化等、急激な気象変化に対応すべく住民への周知等、今後の熱中症対策をどのように取り組むのか。</p> <p>3. 学校生活における集団行動では、生徒個々での判断がしづらく、訴えにくいケースが想定出来ます、小中学校における対策の具体はどのようにお考えですか。</p>	

3. 通学路、生活道路での交通事故から住民を守れ！

町 長

<ゾーン 30 プラスを導入し、対策が必要>

教育長

西脇署管内（R5/4）交通事故発生状況を見ると総件数 511 件と前年比較し+90 と増加を示しています。県下の事故状況は 5 1 6 5 件（同+41）です。他方時間帯別（人身事故）状況を見ると 6 時～10 時の時間帯が 10 件（30%）と多く更に細分すると、6 時～8 時の間で 5 件又、8 時～10 時では 5 件の発生です。（参考資料：西脇警察署 交通安全ニュース「いしずえ」R5.5 月号）

全国における交通事故（人身）発生状況はH24 の 6 6 万 5 千件から R4 の 30 万件へ大きく減少傾向にある。一方車道幅員区分 5.5m 以上、未満の道路別にみると未満道路での発生はH24 の 24.4%から R4 の 24.0%と 10 年間比較でもほぼ変わりありません。

通学路などの生活道路は、幹線道路から渋滞を避けるための抜け道として利用されている。信号のない脇道、スピードを出して通過する自動車が多いところが増えてきています。そのような道路は、地域の住民にとっては、安全を脅かす、正に危険な状態の道路です。早急に安全対策を講じる必要があります。

（例・町道：高岸～山野部線等々でもその傾向は非常に顕著です）

通学路など生活道路における安全対策では、昭和のスクールゾーンに始まり、様々な対策が行われてきました。平成 23 年には、警察庁がゾーン 30 を発表しました。

ゾーン 30 は区域を定め区域内を最高速度 30 キロに規制するものです。非常に有効であります。特に、段差をつけたハンプや道路幅員を狭めた狭窄といった物理的デバイスなどを設置することは、自動車の速度を抑制するために極めて有効な手段であります。正にエビデンスが示す通り、国、県においても「ゾーン 30 区域」という物理的デバイスの設置を進めています。設置されていない場所と比べ当該エリアの自動車は減速が顕著であり「速度抑制」に極めて有効であります。

「安心安全なエリア」として住民から喜ばれています。その効果は顕著です。



一般質問通告書

【第 122 回定例会】

多可町議会議員 笹倉 政芳 様
 多可町議会議員 藤原 清勝

受 領 日	番号
令和 5 年 6 月 5 日	9
午前・午後 8 時 3 0 分	

質問の項目及び内容	答弁を求める者
1. 公文書作成における、管理チェック体制は機能しているか	町長
<p>連日マイナンバーカードのトラブル間違いの報道が続いていますが、三重県松阪市ではカードの写真そのものが、全く別人物の写真のカードが自宅に届いた報道までされています。ここまできると、いったいなぜそうなってしまうのか理解しがたい事態です。そこで、多可町役場としての公文書作成における管理チェック体制は、可能な限りの万全の体制が確立できているか、全担当課の再点検が必要と考えます。例えば、私自身に送られてきた令和 3 年分給与所得の源泉徴収票は、生年月日元号が平成となっており未成年者欄に丸印がありました。なぜこんな間違いが、いとも簡単に見過ごされて役場から送付されてしまうのか実に不思議です。</p> <p>公文書作成における、管理チェック体制は機能しているか。</p>	
2. 見通しのいい交差点での事故を防ぐ安全対策を急ぐべきである	町長
<p>私の自宅近くに、町道東山 3 号線と安楽田 4 号線があります。その交差点で時々大きな事故があります。現場は、真っ平らな非常に見晴らしの良い気持ちの良い風景の町道です。ですが、事故原因は、この見晴らしの良い気持ちの良い風景なのです。「コリジョンコース現象」といいます。</p> <p>コリジョンコース現象の特徴は、ドライバーが相手のクルマが近づいていたことに気づかない、あるいは止まって見えてしまうことにあります。たとえば、直角に交わる見通しのよい交差点に、同じ速度で同時に接近する 2 台のクルマがあったとします。そのとき、相手のクルマは常に斜め 45 度で進み続けます。するとドライバーは近づいてくるクルマを止まっていると認識し、注意を払わなくなってしまいます。</p> <p>そこで、コリジョンコース現象が起こりやすい交差点の手前に「交差点あり」の標識を設置したり、路面に「交差点注意」の文字を書く。路面に凸凹を設け、通過するクルマに振動で注意を促す「減速帯」を設置する。信号機のない交差点では十分に減速して左右の安全を確認しながら通行することが大切です。</p>	

それで、先日、西脇警察に出向いて交通課の大成課長にお話ししましたところ5月11日にも事故があったと言われました。翌日、大成課長は、現場を視察してくださって、私にお電話をくださいました。この現場以外にも危ないところがありますので、事故防止対策について具体的に提案アドバイスさせていただきますから、またご連絡くださいと大変丁寧に対応してくださいました。ぜひ、提案アドバイスをいただいて、事故防止の対策をすべきと考えます。見通しのいい交差点での事故を防ぐ安全対策を急ぐべきです。

一般質問通告書

【第122回定例会】

多可町議会議長 笹倉 政芳 様
多可町議会議員 内橋 志郎

受 領 日	番号
令和 5年 6月 5日 午前・午後 8時30分	10

質問の項目及び内容	答弁を求める者
1. 統合中学校建設に伴う跡地施設について	町長
<p>6月1日夜、開校準備委員会で学校名が最終候補の5案から「多可中学校」に選ばれた。と神戸新聞に載りました。新しい中学校として令和8年4月開校をめざし事業が進んでいます。統合中学校の基本設計が令和5年6月末に、実施設計が令和6年2月末に出来ます。その後、中区中央公園グラウンド周辺で建設工事が始まっていきます。</p> <p>さて、3月議会で同僚議員の同じ内容の一般質問に際し、町長は、現状で方向性が決定しているのは、中町中学校の解体撤去の予定であり、今は内部での検討や情報収集に努めていると応えられた。</p> <p>しかしながら、住民の方からは、「なぜ?」「用途廃止が決まっているのに?」「もっとスピード感覚を持たねば?」などなど声を聞かせていただいた。</p> <p>そこで、お尋ねいたします。</p> <p>①役場内部で、どのような検討をされたのですか?どのような検討をされているのですか?</p> <p>②情報収集では、何が得られたのですか。何を得ようとされているのですか?</p> <p>③用途廃止した施設の利活用は、公共施設等再配置計画に沿って、地元での活用を検討頂くといったことまでは、早急に進めていくべきではないでしょうか?</p> <p>町長の所見を伺います。</p>	
2. 解体撤去の起債活用は、慎重に	町長
<p>令和4年秋の選挙の時に、「公共施設を増やさんとして。子どもや、孫に大きな借金を残さんとして。」と住民の方から切なる願いを聞きました。その時、確かにそうだと私もうなずいた。今から人口は減っていく。一人ひとりの借金の重みが増してくることも確実だ。予算審議は慎重にしよう。とりわけ地方債・借金については、議会で慎重に臨んでいこうと強く思ったことを覚えています。</p> <p>しかしながら、現実には動いています。いま、まちの将来を左右する三つの大きな事</p>	

業が動き出しています。生涯学習まちづくりプラザの概算事業費は、約21億円。統合中学校の概算事業費は約50億円。そして、西脇市と多可町の共同で新ごみ処理施設の概算事業費は約88億円です。現在の住民だけで、これら建設費用をすべて負担するのは厳しいというより出来ません。それよりも、将来の住民にも公債費という借金の返済を通じて、負担していただく方がより合理的といえます。地方債・借金は、その調達資金により整備した公共施設等の耐用年数の範囲内で、30年間なら、それまでの30年までに償還することとされており、これにより世代間の負担の均衡を図ることができます。

その一方、建設ではなく、反対に古くなった公共施設・建物の解体撤去があります。令和5年度当初予算にも、北アリーナー解体工事が6,500万円、風力発電設備等解体撤去2,500万円が計上されています。その財源として、何でもかなうかという、公債費・借金です。それぞれ公債費の過疎対策事業債、合併特例事業債が充てられています。原理原則で云うならば、撤去費用は、積み立てた基金・貯金から充てるべきと私は考えています。身近なことで、例えていうならば、新築する費用は、新築で暮らしていく者が、銀行などで借金して、長期ローンでまかなっていく。その一方、老朽化した母屋の解体費用は、そこで生活していた者が、貯金などから費用を捻出していく。これが、一般的な考え方だと思います。

そこで、公共施設等の老朽化が進んでいく中、お尋ねします。

①公共施設の解体費用、撤去費用については、公債費・借金でまかなわずに、施設等整備基金でまかなうべきだと思いますが如何ですか。

②毎年度、施設等整備基金を計画的に積み立てるべきだと思いますが如何ですか。

町長の所見を伺います。

3. 高校入学支援金支給制度運用の分断線について

教育長

本制度は、故・白川良一氏からの寄付金を活用し、向上心を持ちながら経済的理由により高等学校等への入学が困難な生徒の保護者に対し、入学に伴う費用の一部を支給する制度です。支給することにより、当該生徒の進学を促し、自立と自己実現への支援を行うことを目的に本年度新設されました。支給金額は、生徒1人につき8万円です。高校入学支援金8万円だけでは、制服やカバンなど、全てのものを賄うことは出来ませんが、前向きな新しい制度です。

しかしながら、支給要件と支給金額の運用の中身を聞いてびっくりしました。一つ目は、特別支援学校に進学される場合は、8万円ではなく5万円です。別途支援制度があるためという理由です。

二つ目は、支給要件で、生活保護法の規定による保護を受けている方は、該当しません。別途支援制度があるためという理由です。

そこでお尋ねいたします。

高校入学者を一律に支援するのではなく、経済的に困難な保護者と支給要件を定められました。それなのに、救済される経済的に困難な者と救済されない経済的に困難な者の分断線が、何故あるのでしょうか？

別途支援制度があるためという理由をなくすべき！と私は考えますが、如何でしょうか？

一般質問通告書

【第 122 回定例会】

多可町議会議員 笹倉 政芳 様
多可町議会議員 足立 吉継

受 領 日	番号
令和 5 年 6 月 5 日 午前・午後 11 時 17 分	11

質問の項目及び内容	答弁を求める者
1. 地域の宝！播州百日どりの継続発展は	町長
<p>3月に東京で開かれた、「第15回地鶏・銘柄鶏好感度コンテスト」において播州百日どりが最優秀賞に選ばれました。このことはJAみのり、養鶏農家はもちろんのこと、百日どりに関わる全ての方々にとって励みになり、大変誇らしいことです。一方で輸入品である飼料代の高騰や鶏糞の処分費がかさむなど、養鶏業者の負担も増えてきています。</p> <p>そこでお聞きします。</p> <p>1点目、地域の特産品として継続発展の位置付けから、後継者育成や百日どりを地域ブランドとして確立するために多可町の協力が不可欠です。JAみのりさんと一緒にどう取り組んでいけますか。</p> <p>2点目、百日どりを、行政として安心安全に提供できるように今後どのように関わっていけますか。町長の見解をお聞かせください。</p>	
2. AED 普及推進計画をさらに進めよ	町長
<p>先日、事業所の方から、緊急マニュアルに記載していたAEDがすぐには使用できない場所に移動されており、緊急時に備えて自ら設置を検討しているが、高額であり行政からの補助はないのか、また福祉事業所でも設置されていないところもあり、やはりそのような施設には導入が必要ではないかと尋ねられました。</p> <p>平成27年から29年までは自主防災組織向けに10万円の補助制度があったようですが、導入後のランニングコストなどを考えて導入を断念される場合が多く、使用された実績はなかったようです。</p> <p>第4次多可町健康増進計画の中にAED普及推進計画があり、そこには町管理のAEDが35か所、他施設・協力企業のAEDが52か所あると記載されており、町が取り組むこととして、AEDを設置している町内事業所で、就業時間内に住民に開放してくれる「協力事業所」を増やしますとありますが、約2年に一度</p>	

電極パッドの交換に1万円程と、バッテリー交換に2万円とかかります。このような状況で、補助もせず協力を求めるのは企業への負担が大きく、ハードルも高くなるため無理があります。多可町ホームページにはマップもありますが、まだまだ住民への周知も足りないのが現状だと思います。また数は確保してあるようでも、空白地帯が町内にあるのがよく分かります。

そこで質問させていただきます。

1点目、今後、協力事業所を続けていただくことと、増やすこと、また空白地域を減らすために、一定の基準を設けて導入資金と交換部品の補助金を創設することを提案します。

2点目、町内のAED設置場所の周知をさらに進めるために、みんながもっと分かりやすい標識などの設置は出来ないですか。

以上、2点町長の見解をお聞かせください。

一般質問通告書

【第 122 回定例会】

多可町議会議長 笹倉 政芳 様
多可町議会議員 市位 裕文

受 領 日	番号
令和 5 年 6 月 5 日 午前・午後 1 1 時 5 1 分	12

質問の項目及び内容	答弁を求める者
1. 多可町友好交流の促進	町長
<p>今回縁があり鳥取の若桜町、福井の若狭町を訪れる機会を得て訪問してきました。鳥取の若桜町は、議会の視察という形で訪問し、若桜町議会と交流を深めて、その町独特の悩みを、話し合い親睦を深めてきました。</p> <p>そののち若桜駅を訪れ、多可町から送られた SL 機関車も説明を受け、見学できました。今年中には、スーパーマーケットもなくなるとの説明を受けびっくりしました。人口減少の現実を感じました。</p> <p>また、多可町観光交流協会からは、福井の若狭町のツーデーマーチ参加のため訪問する機会を得ることができました。1,000 人近くの参加者があり盛大なウォーキングイベントでした。多可町の法被を着て、多可レンジャーもイベントに参加し、アピールしました。</p> <p>多可町は平成 28 年 4 月 13 日に若狭町・若桜町・多可町友好交流協定を調印しています。平成 28 年 7 月 22 日には災害時相互応援協定も調印しています。</p> <p>宮城県村田町も友好調定を結び、議会から訪問した経緯があります。</p> <p>加古川市からは多可町観光交流協会を通じ、毎年蛍交流を行い、秋には神戸製鋼フェスティバルを訪問しています。</p> <p>コロナ禍も収束の見込みもある時期になり、本格的な三町交流や村田町や加古川市との交流を深めるべきと思いますが、町長の所見をお願いします。</p> <p>行政レベルだけではなく、一般住民や小学生や中学生たちの交流が望まれます。</p>	

一般質問通告書

【第122回定例会】

多可町議会議員 笹倉 政芳 様
多可町議会議員 日原 茂樹

受 領 日	番号
令和 5年 6月 5日	13
午前・午後 11時53分	

質問の項目及び内容	答弁を求める者
1. DXの推進	町 長
<p>近年のデジタル技術の目覚ましい発展は、私たちの社会生活に大きな変化をもたらしてきました。特にスマートフォンの普及や通信環境の高速化は、多様で大量の情報を簡単に発信することや取得することを可能にしました。単なるコミュニケーションツールというだけでなく、買物、学習、娯楽など、私たちの日常生活に欠かせない社会インフラとなっています。</p> <p>我が国では少子高齢化や人口減少社会が進展し、労働生産力の減少、経済規模の縮小、社会保障費の増大等といった社会的課題が顕著になってきました。今後、この流れはますます加速し、課題の深刻化が懸念されています。</p> <p>多可町においても、行財政改革により職員数が制約される中で、社会環境の変化に伴う住民からのニーズに対応しつつ、持続可能な行政サービスを提供することが求められています。</p> <p>新型コロナウイルス感染症により、私たちは生活の中で「密」を避けることや人との接触を回避するための行動、働き方等の変容を強いられることとなりました。この結果、テレワーク、オンライン会議、子どもたちのオンライン授業、キャッシュレス決済など、社会経済活動の中でデジタル技術を使った「新しい日常」の構築が不可欠となっています。</p> <p>こうした背景を踏まえ、多可町がどのようなデジタル化の方向性を目指すのかを明確に定め、デジタル化によって解決すべき課題や改善すべき業務プロセスを洗い出し、デジタル化戦略の策定をする必要があります。デジタル技術を活用して住民のニーズや新しい日常の構築を確実に進めるための基本的な考え方を示すDX推進計画を策定すべきです。</p> <p>DXを実現するためには、今までの発想を超えて目指すべき理想の姿を描き、一歩ずつ進んでいくことが重要です。そのためにも、IT技術により何ができ得るかを熟知した専門人材が相当数必要ではないでしょうか。DXの知識を持つ専門人材と共に職員が議論を重ねながら多可町の具体的なビジョンを描き、新たな技術などを活用しながらDXを実現していく必要があると考えま</p>	

す。

D Xを推進していくうえで3点伺います。

1点目は専門人材の採用です。多可町でも民間企業等からI T人材を広く採用していくことが必要と考えますが、今後どの程度の人数の専門人材を採用していく予定があるのか伺います。

2点目は採用するだけではなく、人材を育てていく必要があると思います。ビジョンを描き、それを具体的に実現していくためには、職員がI T技術の知識や経験を持って推進していくことも必要と考えますが、I T技術の知識、経験を持つ職員をどのように育成していくのか伺います。

3点目はA I、R P A、チャットG P Tの活用です。A IやチャットG P Tを利用することで、住民や利害関係者に対して24時間体制での情報提供やサポートが可能になります。一般的な質問や手続きに関する疑問に対して迅速に回答することができ、行政サービスの利便性とアクセシビリティを向上させることができるツールをいかに活用していくか伺います。

D Xを活用して住民の利便性を向上させるとともに、デジタル技術の活用により業務効率化を進め、人的資源を行政サービスの更なる向上に繋げ、豊かで安心な暮らしを実現するため町長の所見を伺います。

2. デジタル全盛の今こそ子どもたちに読書を

教育長

様々な分野においてデジタル化が急速に進展する時代を迎えています。G I G Aスクール構想により1人1台の端末整備が急速に進み、子どもたちの多くが自分専用のスマホやタブレットを持つ時代になっています。

子どもたちには、様々な分野においてデジタル化が急速に進展する社会でしっかりと活躍できる力を育てていく必要があります、これからの時代には、I C Tを積極的に活用した教育は必要不可欠なものと考えます。

時代が求める情報機器を使いこなす教育は必須ですが、一方で心配するのは、これらの情報革命のツールがもたらす負の側面です。

大人ですら、次々と刺激的な映像見ていると、バーチャルな世界の虜になってしまい、現実の世界に挑む生命力が弱くなってしまいそうです。ましてや、社会経験の少ない無垢な子どもたちに与える影響が懸念されます。

こうした時代にあっても、情報機器を使うことによる負の側面の予防という観点だけではなく、コミュニケーションの核となる言葉の理解力や表現力とと

もに、思考力や想像力を育む読書は学校教育において極めて重要です。

読書は子どもたちの想像力を刺激し、豊かな内面世界を形成するために効果的な手段です。物語や文学作品を通じて、新しい世界やキャラクターに触れることで、創造力や思考力を養うことができます。読書は言語能力の発達にも貢献します。多様な文体や表現方法を経験することで、豊かな語彙を身につけることができます。また、物語の展開やキャラクターの心情を理解し、それを自分の言葉で表現することで、表現力も向上し、物語の展開やプロットを追いながら読むことで、子どもたちの集中力も高まります。

読書を通じて、様々な知識や情報を得ることができ、歴史、科学、文化などのテーマに触れることで、子どもたちの学習意欲が高まります。興味を持ったテーマに関連する本を読むことで、主体的な学習の姿勢を育むこともできます。

デジタルツールや情報技術の発展は、教育の多様化や拡張にも貢献していますが、それと並行して、読書の重要性を認識し、子どもたちに豊かな読書体験を提供することは、総合的な成長と教育の質を向上させるために不可欠です。

デジタルメディアの発展は素晴らしいものですが、情報の過剰な供給や情報の信憑性の問題も抱えています。読書を通じて、子どもたちは情報を選別し、自分自身で考える力を養うことができます。そのため、デジタル全盛の時代だからこそ、読書を推進し、子どもたちの考える力を育むことは非常に重要だと思います。

教育長の所見を伺います。